

研究結果 (

テーマ：今道友信の美学思想に関する考察 —Calonologia 理論を中心に—

研究結果

本研究は哲学、文化学、社会学などの理論と方法を使い、「美学」の新しい定義と体系としての calonologia 理論の発展の流れで、今道友信氏の現代美学の考え方と現代の文化実態・時代発展との関連を明らかにし、その基本概念「エクスタシス」(extasis)及び「想像力」(imagination)の内容と特徴の移動性を分析してみた。研究を通して、主に次の結果となった。

まず、今道友信は、技術連関社会という時代実態に即して、現実的・批判的な視角から「美学」を再定義し、calonologia という美学概念を打ち出し、単なる芸術学的な段階を超えて、知覚面から超越的なものを対象とする形而上学にまで及ぶ現代美学を提唱した。そのような総合的な美学構想から、今道氏の calonologia 理論は一般的な美学論でなく、より広い領域を扱った哲学論だということが明らかとなった。

次に、calonologia 理論はギリシアのプラトン、東方の孔子、荘子の美学論からの影響を受けていたり、人間の日常生活と現代機械文明における美学的要請に応じて発展してきたということなど、東西美学と現代文明の各要素を巧みに統合して完成できたものだといってよい。そうした点で、東方美学の成り立ちにおける可能性、東西美学理論を調和・整合する必要性、現代美学の課題上の現代性・現実性などの面において、calonologia 理論は中国の美学者に大変示唆的なヒントを与えられることがわかった。

第三に、本研究は今道氏の美学思想を深く考察し、現代的な「東方美学」の構想へと中国の美学者たちを引き戻そうという視点・姿勢で、中国におけるその翻訳的・紹介的な段階を深層的・究明的な段階へと推し進めた。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等) :

①何晓静：“今道友信の Calonologia 理論”，西南大学日本研究所“西南大学と日本研究”研究会，2009年10月，西南大学，中国重慶

何晓静「今道友信の Calonologia 理論」、西南大学日本研究所主催「西南大学と日本研究」シンポジウム、2009年10月、西南大学、中国重慶

②何晓静：“中国的今道友信美学思想研究”，西南大学日本研究所“日本学的建构与思考”研讨会，2010年4月，西南大学，中国重慶

何晓静「中国における今道友信の美学思想研究」、西南大学日本研究所「日本学の構築及び思考」シンポジウム、2010年4月、西南大学、中国重慶

③何晓静：“今道友信の美学思想对构筑东方美学的启示”，四川外语学院日本学研究所“日本学的方法论与实践——以日本研究的视点与姿态为中心”研讨会，2010年11月，四川外语学院，中国重慶

何晓静「東方美学の構築における今道友信の美学思想の示唆」、四川外国語学院日本学研究所「日本学の方法論とその実践—日本研究の視点と姿勢を中心に—」国際シンポジウム、2010年11月、四川外国語学院、中国重慶

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等) :

① 何晓静：《今道友信美学思想的深层建构及当代意义》，《科学时代》第274期，2010.9，第184-186页

何晓静「今道友信の美学思想の深層構造及び現代的意義」、『科学時代』第274期、2010.9、pp184-186]

②何晓静：《今道友信の美学思想与东方美学的建构》，《重庆与世界》第6期，2011.2(发表预定)

何晓静「今道友信の美学思想と東方美学の構想」、『重慶と世界』第6期(发表予定)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等) :